

学校の教育活動から

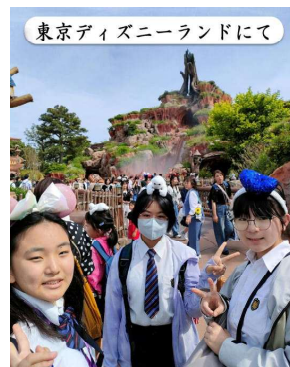
○3日間の修学旅行（東京・千葉方面）

先週の21日(水)～23日(金)に6年生の皆さんが東京・千葉方面に修学旅行に行きました。私はあまり役には立ちませんが、引率のために一緒に行ってきました。

“東京スカイツリー”“国立科学博物館”“国会議事堂”“東京大学等の有名大学”“東京ディズニーランド”“キッザニア”“ホテルでの宿泊”等で、現地ならではの心に残る見学や体験ができたことと思います。日頃、勉強を頑張っている6年生が友だちと一緒に笑顔いっぱい体験している姿を見ることができ、私もとても嬉しくなりました。疲れはあったことと思いますが、子どもたちにとって忘れられない3日間になっていたなら、この上のない喜びです。



国立科学博物館にて



東京ディズニーランドにて

感じたことから

○「ラーニングピラミッド」

右の図は、どのような学習をすると学んだことが身に着くのかを表した「ラーニングピラミッド」というものです。

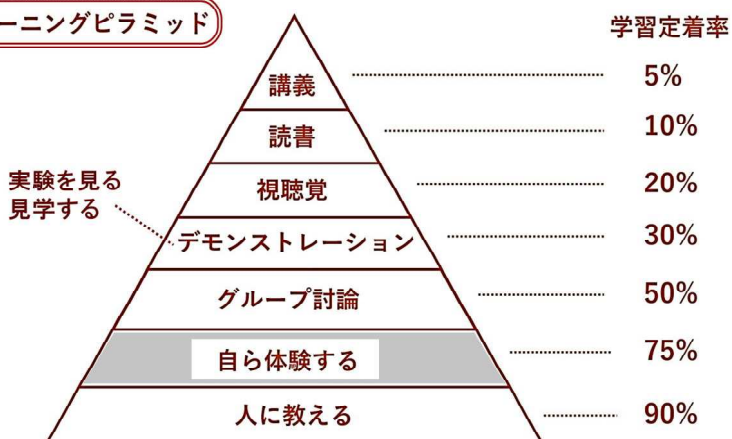
この表からすると、一般的な講義形式の授業では、5%しか頭に残らないということです。それに対し、内容を自らの体験を通して学んでみると、75%も頭に残るということです。

先週、6年生は修学旅行で様々な体験をしてきました。さらに、先々週の自然体験で、4・5年生は、自然に囲まれた中で、野外調理や自然散策、キャンプファイヤーなどの体験をしてきています。こうした自ら体験する学習は、子ども達の学びを定着させる上において、効果的であることを表しています。

さらに、この「ラーニングピラミッド」の図を見てみると、「人に教える」という学びのアウトプットが、90%の定着率という一層の効果をもたらすことを示しています。このことからすると、例えば、修学旅行や自然体験で感じたことや考えたことをお家の方に伝えたり、学校で文章に表現して伝えたりしてみることは、とても意義あることだといえるでしょう。

今回は修学旅行や自然体験を例にお伝えしましたが、日常の学びの中でも“自分で体験”し、分かったことや考えたことを“他者に伝える”学習を豊富にして、学びの一層の定着を図ることができる学習を目指していければと思います。

ラーニングピラミッド



自然体験～杉のコースターづくり～



キッザニアでの体験